

## 令和4年度 第1回社会教育委員会会議録

日時 令和4年6月9日（木）9時45分～12時20分

場所 市役所多目的ホール

委員	委員長	谷勝	公代
	副委員長	岡本	教穂
	委員	田中	亨胤
	委員	高瀬	由美
	委員	松尾	弥生
	委員	村上	尚美
	委員	中村	和子
	委員	菅野	裕之
	委員	植田	正吾
事務局	教育長	民輪	恵
	生涯学習課 課長	北島	悦乃
	生涯学習課 課長補佐	高見	和哉
	生涯学習課 職員	近藤	優佳

### 1. 開会（司会 生涯学習課長）

#### 2. 社会教育委員長あいさつ（委員長）

おはようございます。今日はお忙しい中、全員出席ということで、皆さんからご意見をたくさんいただけるかと楽しみにしております。

さて、今、コロナが収まりかけ、いろいろなものが動き始めたと思います。そんな中で私たちは、社会教育委員として、今年度どういう活動をさせていただくのか、どのような方向にもっていくかを考えていかなければいけません。

前年度に、委員Aから文化財の活動も重要視するために、スクランブル的に考えないといけないというご意見もあったかと思えます。それも5ヵ年計画でしたよね。それも社会教育委員の活動の中に落とし込んでいかないといけないと思っています。

また、今日は教育長もお忙しい中、ご臨席ということで、いろいろご指示をいただけるかと思って楽しみにしております。

私たちはこの緑豊かな中で育てておりますが、少し鈍化してきております。先ほ

ど、委員 A に「この辺りは緑が綺麗だね」とおっしゃっていただいて、やはり、私たちはすばらしいところに住まわせていただいているなど改めて感じました。水も緑も、すべて大事にしていく責任があると思います。

いろいろなことを考えて、皆さん方で方向性を出していけたらと思っております。

### 3. 教育長挨拶（教育長）

皆さん、本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

今日はふたつお伝えしたいことがあります。ひとつは、「デジタル田園都市国家構想」の推進交付金の採択ということ、もうひとつは、いみじくも会長からも出ておりましたが、社会教育委員の会の役割・今日的意義ということ、このふたつをお話しようと思っております。

その前に、加西市はこの度「SDGs 未来都市」に認定されました。人口増政策課が中心になって取り組んできましたが、認められた中心には STEAM 教育があります。なぜなら、全国的な何かを獲得しようとするとき、半歩進んだオリジナリティーがないと認められないからです。デジタル田園都市国家構想も同様だと思っております。

認定されたこと自体は大変いいことなのですが、それを喜んだ後、どうなったというのが今のところ見えないので、腹を据えて取り組んでほしいと思っております。SDGs は、あらゆることにおいての一つの未来の姿を現していると思っておりますので。

また、今年度、加西市教育委員会は、総額 2 億 7000 万円ほどのデジタル田園都市国家構想の推進交付金を内閣府から採択されました。6 月議会が終わるまでは決定ではないですが、採択というのは事実です。デジタル田園都市国家構想とは、要するに、地方が都会と伍してやっていくために、デジタルを最大限活用して情報格差をなくし、できることを極力同じにすることです。

全国のかなりの市町村が着目して、この交付金の申請を行っています。その中で加西市は 6 位ということで、相当な額を採択されているということですが、その中心は、STEAM 教育とスマート図書館です。私は、国が言っていることをそのままやればいいと思っているわけではありませんが、未来的な資金を獲得することは大変大事なことで思っています。おそらく、教育委員会でこれほどの額を国から得たのは、初めてのことで思っていますので、最大限活かしたいと思っております。

その中で、今日の社会教育委員の会で関係があるのは、図書館と公民館の活性化だと思います。公民館や学校に STEAM ラボを設置し、一斉に繋がることができるようにします。スマート図書館は、公民館が図書館と協働する役割を担うために、これから

は、予約本の受け取りなども行い、ネットワーク化します。私はそのことが公民館活性化のスイッチになれば大変いいことだと思っていますので、皆さん方もどんどんネットワークを活用していただきたいと思います。

それから、今、鶉野の「sora かさい」が大変注目されております。sora かさいの一番の大義は、平和学習です。それが、戦闘服を着た男性が紫電改に乗ってポーズを取っているような写真が出まして、市庁舎の中でも問題になっています。sora かさいは、運営・管理は保存会にお願いしてあり、施設運営は指定管理者に出しています。このたびは、現地と市役所側に距離があって、把握しきれていなかったために、このようなことが起きてしまったということです。

また、私が一番気にしているのは、修学旅行生を受け入れていることです。生徒たちを教育的な見地から受け入れておいて、単なる観光になってしまうのか、それとも平和学習になるのかということも大きな分かれ道です。これは問題意識持たなくてはいけないと思っていますので、皆様にもお伝えをしておきます。

教育長として行政側におりますので、その中でどうやって良く変えていけるのかを追求してほしいということを一生懸命言っておりますので、ご意見がありましたら、遠慮なくおっしゃってください。

そして、社会教育委員の会の役割や今日的意義について、もう1回、イロハのイを調べてみました。すると、どこの市町とも社会教育委員の会が低迷しているところが多いようで、問題点がいろいろ挙がっておりました。

まず、求められる社会教育は、当然、自治体ごとに違うはずですので、加西市としては何が重要で重要なのかということをお社会教育委員の皆さんからどんどん提言していただきたいと思います。そして、一番大事なことは、住民のニーズを行政に反映することであると書かれておりました。これは教育委員会だけでは対応しにくいもので、首長部局との協働が大事です。ここで出た問題意識、問題点を首長部局と共有したいと思っています。要するに、人づくり、地域づくりがテーマだということです。

そして、我々にも耳の痛いことですが、社会教育委員活動が活発な市町は、教育委員会事務局の担当者が意欲的であるということが一番に書いてありました。そして、二番目に社会教育委員に意欲のある人がいらっしゃること、それと、教育委員会が社会教育委員の会議で出された提言を重視していること、と書いてありました。

新しい委員さんもいらっしゃいますので、改めて、今日はどんどん提言していただくようお願いしたいです。公民館運営や青少年問題、それから、スポーツ振興、生

涯学習、文化財に関すること、大変幅広い住民のニーズをどう行政に反映するかということ、我々も心してやりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 4. 社会教育委員の委嘱及び紹介

- ・新社会教育委員の委嘱及び紹介

令和4年4月1日付 植田 正吾 氏へ委嘱

任期は、令和4年4月1日から令和5年7月31日まで

- ・各委員、事務局職員の紹介

～連絡事項として、AI 議事録について事務局より説明～

#### 5. 協議事項

- (1) 社会教育団体の認定について

～事務局より説明～

- ・申請団体について
- ・前年度からの変更点
- ・新規申請団体の概要・活動内容

##### ○委員 A

「ピティナ加西ねひめステーション」は、素晴らしい活動をしていらっしゃるね。その前提の中で、規約第二条に「三世代交流」とありますが、今は「多世代交流」という方が一般的ではないかと思えます。人生何十年で終わりのときにはそれでよかったのですが、今は人生百年時代と言われておりますので、多世代ではないかなと思えます。もちろん、変更する必要はありません。多世代という意味で三世代交流を使っているかと理解しています。

また、地域交流というところで、加西市は外国と繋がりのある方々も多くいらっしゃると思います。そうした場合に、社会教育の社会づくり・地域づくりという観点からすると、ユニバーサルデザイン的な形で地域交流をしてらっしゃるという風に考えています。確かめる必要ありませんが、おそらくそういうところは、基盤に置いてもらっているのではないかなと思えます。

それから、期待される事業の効果ということで、充実した老後とありますが、「老後」という概念が、最近薄くなってきているのではないかと思えます。例えば、私個

人から考えると、老後という考え方はありません。生涯学習も文脈でいうと生涯現役という風に考えていますよね。やはり、年代・年齢に関係なく、誰もが充実した人生をしていくということです。

老後ではなく、人生を豊かにするために、心地良い響きを自分の中に受け止めて、将来にわたって学べるという文化的なものをしっかり受けとめていく必要があるだろうと思います。

また、社会学的にも老後という概念はなくなってきたように思います。老後という、終末、終わり、暗い、弱いというイメージが考えられるので、この団体はお使いになってもいいけれど、加西市はマイナスイメージの考え方をしないで前向きに、諸団体に対して指導をしていただければと思います。もちろん社会教育委員の仕事でもあろうかと思うのですが。

○委員 E

この一文で思ったのは三世代交流とか多世代交流が高齢者のためにあるように書いてありますが、私はそうではないと思っています。どちらかという、多世代交流をすると一番利益を得るのは子どもではないかと思っています。

だからといってこの団体が駄目と言っているわけではないです。

○教育長

この団体は、全国的な大きい団体なのですね。

○事務局

全国にあり、この団体は姫路に所属しています。

○委員 E

若手の音楽をする人たちは、発表の場がなかなかありません。発表の場があったとしても高額でできなかつたりします。

○委員 A

今流行っているストリート演奏のように、アスティア加西などに楽器を置いて、自由に演奏してくださいというのもいいかもしれませんね。

○委員 D

地元根差した若い子たちをサポートしていらっしゃるのだなというのがよくわかりました。音楽活動というのは、すごくお金のかかることだと思います。加西市には、自由にその辺に立って演奏する場所はありませんし、良い活動だと思います。音楽で芽生える子が出てくると嬉しいですね。

○委員 E

市役所の入り口にピアノを置いて定期的に演奏をされるといいですね。定期的にやったら人は集まりますよ。

○教育長

それは提案したらいいかもしれませんがね。いいピアノが必要だから大変だけど、そういう文化的なこと、大事ですよ。

○委員 A

JR 山科駅の向かい側にある複合型商業施設にパイプオルガンがあります。タイミングよかったら、そこで演奏をしていて、皆さん立ち止まって聴いています。こういうところで、住民の地域に対する愛着はくすぐられると思うのですよ。今、委員 E 等もおっしゃっていたように、市役所に来ると、時々そういうライブをしているとなったら、市役所がとても親しみやすくなると思います。

僕は、貝原さんと井戸さんにお仕えしましたが、その頃、県の会合を開く時は、さわやかコンサートをされていました。これから売り出そうというような人たちを呼んできて、ライブをしてもらって、いい雰囲気になってから会議を行っていました。

○委員 E

私もフルートの演奏を 1 回聞いたことがあります。素晴らしかったです。

○委員 A

社会教育委員の立場は、物を申すことができるのですよ。例えば、委員長が今日聞いた話を市長に「今日こんな話が出たのですが、ぜひやってください」と言える立場なのです。そういう雰囲気があってほしいですね。

○委員長

私は、こういう団体を育てることも大事だと思うのですが、青少年の方にも力を入れていかないといけないと思います。

先日、「児童合唱団さるびあっ子」の指導者の方とお出会いした時に、今は団員が 10 名で合唱にならないという話を聞きました。私は、以前「児童合唱団さるびあっ子」と 10 年近く関わっていて、副委員長もさせてもらいました。その時は、ジュニアが 50 人以上でシニアが 100 人以上という大所帯で県大会にも出場していました。

今は、青少年の子どもたちに目を向けることが本当におろそかになっていると思います。

○委員 E

人気があるのは、やはりヒップホップダンスです。小さな町でもヒップホップダン

スのチームが本当にたくさんあります。

今は、コロナが合唱をすることにも影響が出て、学校でも歌えないですから、難しいだろうなあと思います。そんな時代に子どもはコーラスに参加してこないと思います。

選択肢が多いことはいいことですが、時代の流れや子どもの想いはダンスなんだなあと思いました。

○委員 A

委員 E がおっしゃったダンスですが、私がお世話になっている京都のお寺では、地域のダンスチームの人たちを境内に呼んで発表の場を提供したり、夜桜を見ながらコンサートを開催したりしています。それを見ながら向かいの喫茶店では、フランス料理を提供しています。地域づくりに一体的になっているのですよね。これも一つの社会教育、地域づくりということかなと思います。

だから、いろいろな切り口で取り組むことはできると思います。できるところからやってみるという判断、勇気、取り組みが大事です。

○教育長

6月議会が終わって、今年度中にデジタル田園国家都市構想のお金を使い切らなくてはいけないので、いろいろやると思いますが、公民館にもいろいろなデジタル機器が入ります。

そうすると、一つの公民館でやっていることをライブ配信することもできます。そういうことを積極的にやらないと、結局設備しただけになってしまうので、どんどん取り組んでいきたいと思っています。

○委員 C

予算を見ると、北播磨地域づくり活動応援事業の補助金が自分のところの活動費を超えているほど大きいのですよね。コロナ禍でお金を使う団体が少ないから、たくさん補助金が出ているのですよね。だけど、またいろいろな団体の活動が豊かになった時、一気に補助金が減ったら、それでもう活動しないという団体も出てくると思います。活動費を超えての助成金は、真っ当な団体育成をするところはしないでしょうね。

もう一つ、ジュニアリーダークラブが、今年、活動をしないので社会教育団体に入らないという話がありましたでしょう。ジュニアリーダークラブは教育委員会が青少年育成のために立ち上げたグループです。だから、コロナ禍で活動先は極端に減っていると思いますが、積極的に市の事業などで使っていただいて活動の場を提供するこ

とも考えていかないといけないですよ。

ですが、所管が総合教育センターに変わってしまいました。でも、生涯学習課が作って生涯学習課が育ててきたものですから、活動がなくなりますという話になった時にもう少し丁寧に見てあげる必要があるのかもしれないです。いきなり見たところで、もう活動先もなければリーダーも育てていないので、それはどうかと思うのですが、指導育成団体はやっぱり大切だと思います。

○教育長

ジュニアリーダーを育成というのは、大事な問題だと思いますので、1回きちっとやってみないといけないと思います。

(2) 社会教育関係団体等補助金について  
～事務局より説明～

## 6. 報告事項

(1) 令和3年度社会教育活動等の実績について  
～事務局より説明～

○委員 E

女性教育推進事業について、加西市女性団体連絡会というのはどこが所管してどういう団体が入っているのですか。

○事務局

所管は生涯学習課です。構成は、連合婦人会、いずみ会、更生保護女性会、商工会議所女性部、シニアクラブ連合会、女性会交通安全協会婦人部の6団体です。

○委員 E

男女共同参画はふるさと創造課が担当していますよね。あちらと連携するという形はないのですか。

○事務局

女性関係の活動と2つに分かれてしまっているのです、その辺は少し難しいところですね。

○委員 E

おそらく、こちらの団体も高齢化しているかと思いますが、今後どうしていくのかも考えておかないといけないなと思いました。

それと、その上の女性問題地域研修会について、詳しく説明をお願いします。



### ○委員長

これは、県の補助金の名前です。私たち婦人会は、加西市へ嫁いできた人が、加西市を知らないですということを実感しており、地域のことに市民として関心を持っていくため、法華山や羅漢寺などの事業はいつも入れています。

### ○教育長

今おっしゃった加西市女性団体連絡会は、私も最初、よくわからなかったんです。それで会議に出てみたら、それぞれの団体の女性リーダーたちの連絡会議でした。

感想としては、皆さんいろいろなことを頑張ってやってこられたのだなと思いました。その時に、何人かが、正直この会議が自分たちの意見を言える場であるとは思ってなかった、とおっしゃいました。私は、何の色もつかずに教育長として出て自分の考えをのべ、皆さんの意見や思いを聞きましたので、それぞれの女性たちの意見がいっぱい出てきました。例えば、加西に嫁いできたなら「とにかく目立たんように」と言われて私は何十年生きてきた、でももっと自分たちの生き方やリーダーシップを発揮したいというようなことでした。

基本的には、それぞれの団体がどういうことをしているかという連絡会議なので、もう少しあり方をきちっと考えるといいですね。何十年もリーダーとして活動し、自分たちの意見をちゃんと持っていらっしゃる女性たちが多かったですから。

### ○委員長

あの場だからこそ、あれだけの意見が出せるのだと思います。みんながお互いを理解しようと思っけていますからね。自分の団体だけでは、あれだけの発言ができないと思います。

### ○委員E

出てきた意見が形になったら、皆自信がつきます。意見を言えたということも大事ですが、それだけの人たちがいらっしゃるので、形にしないともったいないですよ。ね。

### ○教育長

それがこれからの課題ですね。

### ○委員長

この年代まで来ている人じゃないですか。私よりも上の方もたくさんいらっします。

自分の幸せを自分で確実に握る、それぐらいの力をみんな持っていらっしますのでね。それをどういうふうがいい形にリードしていくかですね。

○委員 E

是非、男女共同参画の方と繋がっていただきたいなと思います。

○委員長

男女共同参画と繋がるようになったら皆さん引かれると思いますよ。それが違いです。

○委員 E

男女共同参画は、やはり誤解されていると思います。そこからのスタートなのかもしれないです。

それと、最初に教育長がおっしゃったように、何をやったかではなくて、何でやるかを大事にしてほしいなと思いました。全部横並びのような気がします。社会教育はそうではないと思います。何を指すために、この分野でこれをやるということがはっきりしていないといけません。今は、構築した先が見えていないと思います。

○教育長

STEAM 教育についても、それで地域をどうしようとしているか、具体案を出していく必要があります。地域で STEAM 教育をやることの目的を持って、取り組んでいかなければいけないなと思います。

○委員 E

Wi-Fi ドーム的な事業はないのですか。ここも Wi-Fi が来ていますけど、やっぱり弱いです。Wi-Fi が充実しているところは、とても交流ができやすいです。Wi-Fi 環境が整っていたら、もうごちゃごちゃした都市で住まなくて済むので移住が増えますよ。

○教育長

地域ネットって言う以上は、そういう発想をしていかないかね。

○委員 E

やはり、経済的にしんどい方たちの子どもは、デジタルから落ちこぼれていきます。家庭内に Wi-Fi 環境がないというのが本当は多いので、それが変に格差を生まなかなと心配をしています。

○教育長

学校のタブレット持ち帰りということで調査をしていただいた際、解決方法としては、ポケット Wi-Fi を渡しているのですよね。本当はどこでも出来るようになるのが大事ですね。

○委員 B

生涯学習系の計画で、今年は公民館・オークタウン加西のあり方検討委員会がありますよね。本来なら、社会教育委員の会議で公民館の話をしなないといけないと思うの

で、その中でどんな話が出て、どういう風に進めていくのかをお聞かせいただきたいです。また、それに対して思うことがあれば、皆さんにお聞きできればいいなあと思います。

また、今年も「はじめてのスマホ体験講座」を開かれるということで、電話、メール、カメラ、地図と出ているのですが、これからの時代、キャッシュレス決済などスマホがないとお得を受けられない世代が出てきますので、そこまでぜひ行ってほしいと思います。

#### ○事務局

その後、ステップアップして、個別の内容も実施できるようにしたいと思います。

#### ○委員 B

先ほどの社会教育関係団体承認のところで言えばよかったのですが、協会の下に子団体や孫団体がありますよね。でも、申請を出しているのは、親団体さんだけだと思います。補助金に関係ないとはいえ、活動してない団体を承認してしまっただけではいけないと思うので、その子団体や孫団体がきちんと活動をしているのか、わかるようにしておかないといけないと思います。

#### ○事務局

今おっしゃった通り、親団体に下部団体の活動報告を求めたりこちらから聞いたりという体制にはなっていませんので、きちっと確認できる体制にしたいです。

あり方については、委員長を引き受けていただける学識経験者の方と5月に1度お話をしまして、大まかなことを話しています。先生から具体的な話をする前に、部長、副市長、教育長、市長を含めて、お考えをすり合わせたいというご希望をいただいています。それができたら、7月から進めていきたいと計画しています。

社会教育委員の会議であり方検討委員会の報告をさせていただき、ご意見をいただきたいと思っております。

#### ○委員 F

いろいろお話聞かせていただいて本当に勉強になりました。ありがとうございました。昨年度、学校でやってよかったなということがいくつかあります。

まず、婦人会の方にお世話になり、リズム体操をしました。また、今年もトランポ・ロビックスをしました。そうすると、今年の運動会で、ラジオ体操ではなく、リズム体操を入れた準備体操をしようという意見が先だって子どもから出ました。

それから、宇仁小学校は小さい学校ですが、子どもたちが加西市で一番小さい学校という気持ちにならないように、また、STEAM教育の一環という意味もあり、ワシント

ン大学の学生とアップル会社社員とで、オンラインで講習会をしました。八王子神社のガイド隊のビデオを送って見てもらうという文化交流をしたのですが、子どもたちが緊張してしゃべれなかったんです。でも、それによって、子どもたちはいつでも世界と通じることはできるという気持ちをつくることができたと思います。

実は、今年ガイド隊で何をしたいのかといたら、子どもたちは宇仁の地域が住みやすい地域にしたい、そして、学校がより良くなるような学校づくりをするにはどうしたらいいのかを研究をしたいと言うんです。

そこで、何をするかと言ったら小学校の歴史について学びたいということがあったので、宇仁資料館の方に学校に来ていただいて、語り部活動みたいな形で宇仁の歴史について聞きました。

先ほど委員Aが、社会教育委員の仕事はいろいろなところで話することだとおっしゃっていましたが、これは校長も同じで、いろいろなところで積極的に体験も含めて話をしていき、少しでも加西市の子どもたちの育成を頑張っているなどと思われるような活動を頑張っていきたいと思います。

#### ○教育長

素晴らしいです。もっとアピールしてください。それが地域づくりに繋がっています。

### 7. その他連絡事項

#### ○事務局

～今後の行事について事務局から説明～

### 8. 閉会（副委員長）

長時間、活発なご意見をありがとうございました。

そもそも、こういった会議で活発に意見が出るということは、昔は地域社会がしっかりしていたのが崩れてきて、そのしわ寄せが学校や市の方にかぶさってくるような形でいろいろな問題が出てきているからだと思います。

個人の社会を目指してやってきたわけですから、いろいろ矛盾が出てきております。それをどうやって解決していくかはなかなか難しい問題だと思います。ですから、いろいろなご意見を出していただいて、有益で立派なアイデア出していただければと思います。

本日はどうもありがとうございました。